



新しい技術の動向について広く情報収集に努め、
また、“美しく、快適で、機能的な”駐車場づくりをモットーに
会員各社協力のもと業界の事業発展に寄与しています

事務局：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-17
TEL 03-3663-6282 FAX 03-6257-1010
URL <https://www.gia-jpb.jp/>
E-mail jp3533@gia-jpb.jp

2026年度 定時社員総会・懇親会 開催報告

●開催日時

【総 会】2026年5月27日(水) 11:00～11:40

【懇親会】2026年5月27日(水) 12:00～13:00

●会 場：KKRホテル東京10F「瑞宝の間」

今年度も無事KKRホテル東京を会場に、定時社員総会、そして懇親会を開催することができました。当日は議決権を有する正会員総数89名に対し、出席会員30名、委任状32名、合計62名となり、一般社団法人に関する法律第49条第1項に基づき定時社員総会が成立しています。

●定時社員総会

議長は前川琢也理事長が務め、以下の議案――

第1号議案 2025年度事業報告について

第2号議案 2025年度収支決算及び監査報告について

第3号議案 年会費改訂(案)について

第4号議案 2026年度事業計画(案)について

第5号議案 役員選任(案)について

以上、本総会における全議案の審議の結果、全会一致で可決されました。

●懇親会

総会終了後には同会場で懇親会を開催し、国土交通省、駐車場関係団体、学識経験者など多くの来賓にご出席いただき、和やかな雰囲気の中、前向きな意見交換が活発に行われるなど、盛会となりました。



定時社員総会



懇親会



【主催者挨拶】

山中 直樹 理事長

【来賓祝辞】

国土交通省 都市局
街路交通施設課長
筒井 祐治 様

【来賓祝辞】

平 将明衆議院議員
秘書
内藤 文浩 様

【乾 杯】

前川 琢也 副理事長

【中締め】

大津 忠芳 副理事長

◆次回理事会・部会予定

- ◎広報部会 : 7月16日(木) 14:00～
- ◎技術部会 : 8月19日(水) 13:30～
- ◎第3回理事会 : 9月10日(木) 16:00～

◆今後の行事予定

- ◎第1回関西支部研修会 : 7月16日(木)
- ◎実務者交流会(東京) : 8月 7日(金)
- ◎第1回北海道支部研修会・懇親交流会 : 8月27日(木)～8月28日(金)

株式会社アルゴ

駐車場の「はじめる」と「ひろげる」を、もっと身軽に



社長メッセージ

代表取締役社長 光藤 可奈子

キャッシュレス化やDXが加速する中、駐車場運営の可能性もまた、大きく広がっています。その中で私たちが目指すのは、多様化する現場のニーズに寄り添い、新たな活路を切り拓くことです。

私たちが開発した『ScanPa』は、短期現場や狭小地をはじめ、これまで諦めてきたような土地でもスピーディーに

収益化できる柔軟性が強みです。運営のハードルを徹底的に下げ、駐車場の「はじめる」と「ひろげる」を身軽にすることで、会員の皆様のビジネスを加速させる「強力な武器」でありたいと考えています。

JPB会員の皆様の頼れるパートナーとして、共にこれから駐車場ビジネスを盛り上げ、新たな価値を創造していければ幸いです。

企業紹介

株式会社アルゴは、不動産開発・コンサルティングを手がける株式会社北極星コーポレーションの駐車場運営プロジェクトをルーツに誕生しました。現在は、機器設置不要の完全キャッシュレス駐車場精算システム「ScanPa(スキャンパ)」を全国に展開しています。

駐車場運営の現場を知り尽くした私たちだからこそ、時代とともに多様化する運営会社様のニーズや、現場ごとの課題を深く理解しています。従来の機器設置型の運営にはその良さがある一方で、「よりスピーディーに開設したい」「初期投資を抑えて事業を拡大したい」という声も多く聞かれます。そうし

た現場の新しい選択肢として、運営をよりスマートにするために生まれたのがScanPaです。

私たちが目指すのは、機能を過剰に盛り込むことなく、運営会社様が本当に必要とする機能に絞り込み、最も扱いやすい形で提供することです。おかげさまで、短期地や狭小地での導入はもちろん、現在では規模や立地を問わず、あらゆる現場で導入が進んでいます。

運営会社様の事業を加速させる「強力な武器」であり、「頼れるパートナー」として。ScanPaがどのような仕組みでこれからの駐車場運営を支えるのか、次章で詳しくご紹介いたします。

主要製品等

完全キャッシュレス駐車場精算システム「ScanPa(スキャンパ)」

ScanPaは、精算機を置かない駐車場精算サービスです。フラップもゲートもなく、現地に必要なのはQRコードを印刷した看板だけ。ご利用者はスマートフォンでQRを読み取り、入庫から精算までをすべてWeb上で済ませます。

設備をなくせば、当然コストは下がります。ですが、運営会社様がScanPaを選んでくださる理由は「安いから」だけではありません。駐車場を「はじめる」ことも、「ひろげる」ことも、もっと身軽に。このシンプルな形だからこそ生まれる価値が選ばれる理由です。



◆短期の現場ほど、早く・少ない負担でオープンできる

短期間だけ運用する土地では、初期費用をできるだけ抑え、1日でも早くオープンして回収につなげたいもの。とはいえ、貸主様との調整、看板の手配など、開設までにやるべきことは決して少なくありません。ScanPaなら精算機の設置工事は不要で、駐車場に必要な設定も簡単なパソコン操作だけで完了します。運営会社様が本来やるべき準備に集中していただけるよう、面倒な部分はScanPaが担い、運営会社様の負担はとことん軽くする。その積み重ねが、より早い開設と、より確実な回収につながります。

◆これまで見送ってきた土地も、収益を生む場所に

精算機を置かない分、狭小地や変形地など、設備投資のコストや設置の都合で諦めてきた土地でも駐車場として活かせます。店舗にお客様用の駐車場を併設したり、イベントの際だけ空きスペースを開放したりと、ScanPaならではの柔軟な使い方も広がっています。

◆シンプルでも、機能は充実

ScanPaは形こそシンプルですが、運営に必要な機能はしっかり備えています。たとえば、立地や地域性に合わせて前払い・後払いを選べるなど、現場の実情にきめ細かく対応できます。基本の仕組みはそのままだに、ちょうどいい形で運営できます。

◆キャッシュレス化の時流

電子帳簿保存法の改正やインボイス制度の開始により、データが残る決済方法へのニーズが年々高まっています。設備投資を抑えながらキャッシュレスに対応できるScanPaは、こうした時流にお応えする現実的な選択肢です。